

令和7年度 学校評価記入用紙（年間評価）

青森県立尾上総合高等学校 通信制

※ 評価方法(評定の記入) 4:達成できた 3:ほぼ達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった

| 全般 | 項目 | 評価規準 | 今年度評価(平均) | 昨年(平均) | |
|---------------|----------|--|--|--------|-----|
| 1 学校経営 | 1-1 教育目標 | 1-1-1 経営方針や活動計画は、生徒の実態を踏まえたものとなっている。 | 3.8 | 3.4 | |
| | | 1-1-2 通信制課程の特色を十分に考慮し、魅力ある学校作りに取り組んでいる。 | 3.8 | 3.6 | |
| | 1-2 校務分掌 | 1-2-1 分掌の構成は、年齢・経験等のバランスがとれ、かつ適材適所となっている。 | 3.9 | 3.0 | |
| | | 1-2-2 分掌の組織は、学校の実態に基づいて編成され有機的に機能している。 | 3.9 | 3.3 | |
| | | 1-2-3 分掌間の連絡・調整や協力体制が図られ、教育活動の改善に生かされている。 | 4.0 | 3.4 | |
| | 1-3 危機管理 | 1-3-1 危機管理マニュアルが整備されていて、教職員に周知徹底されている。 | 3.7 | 3.3 | |
| | | 1-3-2 災害や事故防止のための管理体制が整っており、組織的に機能している。 | 3.7 | 3.6 | |
| | 1-4 財務会計 | 1-4-1 教科・分掌に必要な備品や消耗品が配置され、有効に活用されている。 | 3.9 | 3.7 | |
| | | 1-4-2 会計に関する諸表簿は適正に整備され、決算報告は適正に行われている。 | 4.0 | 3.9 | |
| | 1-5 学校評価 | 1-5-1 学校の教育方針や教育活動について、生徒・保護者に説明や情報提供をしている。 | 3.9 | 3.6 | |
| | | 1-5-2 学校評価を行い、学校のあり方や教育活動の改善のために活用している。 | 3.9 | 3.9 | |
| | 2 教育活動 | 2-1 教育課程 | 2-1-1 教育目標・重点目標・学校課題等を踏まえて基本方針を決定している。 | 3.9 | 3.9 |
| | | | 2-1-2 生徒や学校の現状、地域の実態十分に配慮している。 | 3.8 | 3.9 |
| 2-2 教科指導 | | 2-2-1 学習指導要領に基づき、学校の教育目標、重点目標を踏まえて指導している。 | 3.9 | 3.9 | |
| | | 2-2-2 基礎的・基本的な内容が身に付くよう、指導内容の重点化、教材の精選・工夫、レポートの作成に努めている。 | 3.9 | 3.7 | |
| 2-3 特別活動 | | 2-3-1 生徒の実態や学校の特色を生かした指導計画を作成している。 | 3.9 | 3.7 | |
| 2-4 総合探究 | | 2-4-1 活動計画は、生徒の実態や興味・関心、地域の特色を生かしたものになっている。 | 4.0 | 3.7 | |
| 2-5 体育・健康教育 | | 2-5-1 地域や生徒の実態及び関係諸法令等を踏まえた指導計画を作成している。 | 4.0 | 3.4 | |
| 2-6 生徒指導・教育相談 | | 2-6-1 生徒や地域の実態に応じて、全教職員の共通理解のもとに指導計画を作成し、連携した指導体制を整えている。 | 3.8 | 3.6 | |
| 2-7 進路指導 | | 2-7-1 生徒や地域の実態に応じて、全教職員の共通理解のもとに指導計画を作成し、連携した指導体制を整えている。 | 3.9 | 3.4 | |
| 2-8 環境教育 | | 2-8-1 学校の実態に即し、教職員が連携して指導できる体制を整えている。 | 3.9 | 3.4 | |

| 分掌 | 重点目標 | 評価規準 | 個人評価 | 昨年 | |
|----------------------------|-----------------------------|---|--|-----|-----|
| 3 教務 | 3-1 生徒の実態把握とその実態に応じた学習指導 | 3-1-1 スクーリング日の放課後または翌日に、生徒についての情報交換の場を設け、生徒一人一人の実態把握を行っている。また、その実態に応じた学習支援を講じている。 | 4.0 | 4.0 | |
| | | 3-1-2 スクーリングへの参加率向上並びに卒業率の向上を目指し、GoogleClassroomを活用しながら、着実なレポートの提出と単位の修得を促している。 | 3.8 | 3.5 | |
| | | 3-1-3 主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指し、レポート指導等個人指導を充実させ、生徒の基礎学力の向上や成功体験に寄与している。 | 3.7 | 3.5 | |
| | 3-2 個に応じた「わかる」授業の実践と基礎学力の定着 | 3-2-1 公開研究授業を実施し、スクーリングに対する意見交換の場を設け、教師の指導力向上およびスクーリングの内容充実を生かしている。 | 4.0 | 4.0 | |
| | | 3-2-2 学習の効率化を図るため、ICT機器を活用したスクーリングを行っている。 | 3.9 | 3.5 | |
| | | 3-2-3 校内研修の活性化を図るとともに、校外の研修への参加を推奨し、教師自身が学ぶ体制を整え、研修内容を共有している。 | 3.6 | 3.5 | |
| | | 3-2-4 「授業アンケート」を実施し、着実に振り返りを行い、スクーリングをブラッシュアップさせている。 | 3.7 | 3.5 | |
| | 3-3 安定的で円滑な公務の運営 | 3-3-1 各分掌、定時制と連携し、行事や授業が円滑に実施されるよう調整している。 | 3.9 | 3.5 | |
| | | 3-3-2 校務支援システムや諸システムの効率的な運用を行っている。 | 3.9 | 3.5 | |
| | | 3-3-3 次年度への改善に向けて、各行事の反省を常に行っている。また、業務には複数で携わる・確認するなどし、業務内容が組織化されている。 | 3.9 | 3.5 | |
| 4 生徒指導 | 4-1 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成 | 4-1-1 登下校時や授業開始前・終了後など、学校生活の様々な場面で教職員の積極的な挨拶指導をとおして、自発的に挨拶する態度を身に付けさせている。 | 4.0 | 4.0 | |
| | | 4-1-2 (いじめ) 生徒及び保護者へのアンケートをとおして職員間で情報共有をし、集会や面談を活用していじめ防止の啓発をしている。 (いじめ) 「いじめ防止委員会」を充実させている。 | 3.9 | 4.0 | |
| | 4-2 生徒会活動の活性化 | 4-2-1 (生徒会活動) 生徒会役員の自主的活動を援助し、物事をやり遂げる達成感を持たせている。 (生徒会活動) 生徒会活動の活性化のため、定期的に役員会を開催している。 | 3.6 | 3.3 | |
| | | 4-2-2 定通総体への参加を働きかけ、部活動を充実させている。 | 3.8 | 3.7 | |
| | 4-3 生徒理解の深化 | 4-3-1 生徒理解のため、登下校時やスクーリングなどさまざまな機会を生かし、生徒と対話をしている。 | 3.4 | 4.0 | |
| | | 4-3-2 学校行事や特別活動へ積極的参加を促し、それらを通して生徒理解を行っている。 | 4.0 | 4.0 | |
| | | 4-3-3 総合探究で「自己理解」に関するテーマを設定し、生徒個々の状況を把握しながら生徒理解を行っている。 | 3.9 | 4.0 | |
| | 5 進路指導 | 5-1 生徒への主体的な進路選択のための支援 | 5-1-1 オープンキャンパスや職場体験等の情報を積極的に発信することにより、生徒の参加を積極的に促して、自ら情報収集することを指導・支援している。 | 3.8 | 3.3 |
| | | | 5-1-2 面談をとおして、卒業後の将来を考えさせ、自己選択できるようにしている。 | 4.0 | 4.0 |
| | | 5-2 保護者への積極的な情報提供 | 5-2-1 進路だよりを発行し、より具体的な進路情報(オープンキャンパス、求人情報、各種説明会等)を積極的に発信している。 | 3.9 | 3.6 |
| 5-2-2 保護者会において進路情報を提供している。 | | | 3.9 | 3.8 | |
| 5-3 望ましい職業観・勤労観や人生観の育成 | | 5-3-1 総合的な探究の時間と連携し、「自己分析」「職業調べ」「求人票の見方」「履歴書の書き方」「面接の受け方」等のテーマを扱い、キャリア教育を充実させている。 | 4.0 | 3.6 | |
| | | 5-3-2 進路講話を実施し、進路意識を向上させている。 | 4.0 | 3.8 | |
| | | 5-3-3 パソコン教室を実施し、資格取得などのスキルアップに寄与している。 | 3.9 | 3.8 | |

